

第5回 講義ノート 子ども理解の方法について

教育において、子どもを理解するという事はきわめて大切です。子どもを理解する方法は、教育学や心理学や社会学、文学などで、さまざまな方法がありますが、今回は、心理学的な方法の1つを、紹介します。皆さんにも、自分理解の為に、1つやってみてください。

最初に、1枚の紙（A4くらいの大きさ）を用意し、そこに「嫌いなもの」の絵を描いてください。そして、傍に、それが「嫌いな理由」を書いてください。

心理学には、人の心を探るのに、カウンセリングという方法の他に、「描画法」という方法があります。描画法は、実際に絵を描いて表現してもらい、その絵から、それを描いた人の心を明らかにしていく手法です。類似のものに「箱庭療法」があります。箱庭療法では、砂の入った木箱に準備したミニチュアを好きなように配置をして、自分の世界を表現してもらいます。絵や箱庭から、それを描いた人の心を探ろうとするものです。描画法や箱庭療法では絵の上手い下手やミニチュアの準備など大変で、簡便な写真投影を使う方法を精神科医の野田正彰を考案しました。

「写真投影法（Photo Projective Method: PPM）」とは、写真による環境世界の投影的分析法です。（野田正彰，1988，『漂白される子供たち』情報センター出版局）。

この方法では、調査対象者にカメラを渡し、何らかの教示を与えて写真を撮らせる。そして写真に撮られたものを、自己と外界との関わりとの反映と見なし、認知された環境（外）と個人の心理的世界（内）を把握、理解しようとする方法です。

これは、これまで言語レベルでの測定によってしか知りえなかった撮影者の視覚的世界や心理的世界が、写真という視覚的データを介して垣間見られるからである、と言われていきます。

それに近い方法を、写真家の藤原新也が、氏が卒業した小学校の授業を展開した動画（YouTube）があります。それは、単に子どもを理解するという方法を超えて、子どもに人の生き方まで考えさせる優れたものです。40分ほどのものですが、これを視聴して下さい。子ども理解と授業のあり方を考えてほしいと思います。

課外授業 藤原新也（<https://www.youtube.com/watch?v=O6xyn4Qv-A>）

今回の課題は、①1枚の紙（A4）を用意し、そこに「嫌いなもの」の絵を描いてください。そして、傍にそれが「嫌いな理由」を書いてください。② 藤原新也 「課外授業」をみた感想を書いて下さい。

提出方法は、上記の①、② をスマートフォンで撮影して、「課題提出」より提出してください。写真サイズは5MB以下になるようにしてください。

提出方法は、下記の動画が参考になります。

<https://youtu.be/HM5K4LS8Mbk?t=332>